

# 共同薬局だより ～そよかぜ～



2010/10/28  
復活 10 号

## 特集：インフルエンザ(1)

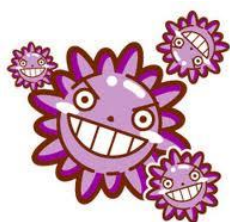
### インフルエンザとはどういう病気ですか？

インフルエンザはインフルエンザウイルスによる感染症で、鼻咽頭、のど、気管支などを標的臓器とします。急に発症する 38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などに加えて、咽頭痛、鼻汁、咳などの症状も見られます。大多数の人では特に治療を行わなくても約 1 週間で自然治癒します。しかしながら、乳幼児、高齢者、基礎疾患をもつ人では、気管支炎、肺炎などを併発したり基礎疾患の悪化を招いたりするなどして、最悪の場合死に至ることもあります。新型インフルエンザも従来のインフルエンザと同様に考えられます。



普通のかぜとインフルエンザは、症状に多少の類似性があるものの疾病としては全く違うものです。

### インフルエンザの症状と診断方法について教えてください。



潜伏期は 1 日から 5 日 (平均 3 日間) とされています。臨床現場での診断補助のためには、発症早期にインフルエンザウイルス抗原を検出するための迅速診断キットがすでに普及しており、通常 30 分以内に結果を判定でき、ベッドサイドや外来でも診断が可能です。(鼻汁または喉の粘液で調べます)

### インフルエンザの予防法について教えてください。

予防の基本は、流行前にワクチン接種を受けることで、欧米では一般的な方法であり、本邦でも年々ワクチン接種率の上昇が見られてきています。インフルエンザワクチンは、罹患した場合の重症化防止に有効と報告されています。一般的な手洗い、うがいも有効です。

### インフルエンザにはどんな治療法がありますか？

他の疾患にも共通して言えることですが、早めに治療し、からだを休めることは、自分のからだを守

るだけでなく、他の人にインフルエンザをうつさないという意味でも大変重要なことです。一般的な注意点は、以下のようなことです。

- \* 風邪だと考えずに、早めに医療機関を受診して治療を受けましょう。
- \* 安静にして、休養をとりましょう。特に睡眠を十分にとることが大切です。
- \* 水分を十分に補給しましょう。お茶、ジュース、スープなど飲みたいもので結構です。

インフルエンザに対する特異的な治療として、1998年11月から抗インフルエンザウイルス治療薬が使用できるようになりました。また、インフルエンザにかかったことにより、他の細菌にも感染しやすくなりますが、このような細菌の混合感染による肺炎、気管支炎などの合併症に対する治療として抗菌薬が使用されます。これらの薬の効果については、インフルエンザの症状が出はじめてからの時間や病状により異なりますので、使用する、しないは医師の判断となります。

なお、一般の感冒薬（かぜ薬）と言われるものは、発熱や鼻汁、鼻づまりなどの症状をやわらげることはできますが、インフルエンザウイルスや細菌に直接効くものではありません。



## インフルエンザの治療薬はありますか？

現在、よく使われる薬剤として以下のものがあります。いずれの薬剤も、インフルエンザの罹病期間を24時間程度短縮するという効果があります。いずれのお薬も、最初に症状が出てから48時間以内に使用開始する事が原則です。

### (タミフルカプセル・ドライシロップ)

飲み薬のインフルエンザ治療薬です。1日に2回、5日間服用します。

### (リレンザ吸入薬)

吸入薬のインフルエンザ治療薬です。1日に2回、5日間吸入します。

いずれの薬も、新型インフルエンザ（H1N1豚インフルエンザ）を含む、A型・B型のインフルエンザに有効です。副作用は、異常行動等がマスコミでも取り沙汰されていますが、処方された場合には副作用や注意事項が詳しく説明されることになっています。

いっぽう、インフルエンザ罹患時に服薬しない方が良いと言われる薬があり、特に15歳未満の方は、解熱剤の「アスピリン」「ジクロフェナクナトリウム」「メフェナム酸」などがインフルエンザ脳炎後の使用で死亡率を増やしたと報告されています。現在は、小児も含めて安全な「アセトアミノフェン」（カロナール）が一般的に使われるようになっています。

参考 国立感染症センターHP 厚生労働省「新型インフルエンザ関連情報」

千葉民医連薬剤師・薬学生のページ <http://www.min-iren-c.v.jp/>

